

令和2年度 苫小牧市図書館協議会定例会（書面会議） 会議概要

基準日：令和2年5月29日（金）

審議委員：松井会長、深澤副会長、一谷委員、伊藤委員、鈴木委員、地白委員、橋本委員、原口委員、三上委員 計9名

※本審議会については、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、参集しての会議を中止し、書面にて会議を開催いたしました。

1 議 事

(1) 令和元年度事業報告について

苫小牧市図書館運営計画に基づく令和元年度の取組内容や主要サービス統計、サービスアンケートについて事務局より説明。

<意見等（整理・要約）>

	意見等	意見等に対する事務局の回答等
1	<p>3名の著名な方々を招いた講演会やワークショップは令和元年度の特筆すべき事業の一つでした。しかも、講師は文章作家、パフォーマンス作家、絵本の絵の作家というように多彩な顔ぶれ。</p> <p>年間にこの中のお一人が来られるだけでもすごいことです。北海道の地方都市とは思えない、豪華な文化的事業でした。</p>	<p>ご評価をいただきありがとうございます。令和元年度は、作家の方の来道の前定（サトシン氏、えがしらみちこ氏）など近隣自治体の図書館（恵庭市など）等から情報を得て、うまく日程調整が出来、経費についても抑えることができました。今後もアンテナをしっかりと立て取り組んでいきたいと思ひます。</p>
2	<p>「図書館 de 年金セミナー」が図書館の来館者増や市民の読書活動に直結するのとか、こういう内容は年金事務所や銀行が開催すればいいとお考えになる人もいるかもしれません。ですが、そういった専門的などころの主催だと敷居が高く感じられ、参加をためらう方もいるので、図書館で開催したこと自体を高く評価します。複数年の継続開催をお考えとのことですが、「図書館 de 健康セミナー」とか「がんセミナー」など、市民のニーズをひろうと内容の幅も広がりそうです。</p>	<p>ご評価をいただきありがとうございます。今までの図書館に対しては「図書館は静かに本を読み、調べものをする場所」という概念が強かったかと思ひます。現在、図書館が地域のコミュニティの拠点としての役割を求められる時代になってきました。今後も利用者のニーズを敏感にとらえ進めていきたいと考えております。そして各種講演に関連する本、資料も併せて紹介することにより図書館利用を増やすこと</p>

		も可能かと思えます。
3	<p>「読書感想文コンクール」は、夏冬とも昨年度より応募数微増。夏のコンクールの上位大会では、全道コンクールにおいて最高賞の「北海道知事賞」（中学校の部）を含む特別賞6点（小学校5中学校1）、全国コンクールにおいて特別賞2点（小学校2）という結果で、内容も充実していました。ほかに、「読書感想画コンクール」「調べる学習コンクール」にも多くの作品の応募がありました。</p>	<p>令和元年度は、質の向上が著しかったようです。各学校の先生方の指導の賜物かと思えます。</p> <p>今後も各学校の先生方と連携して応募数が増えるよう進めていきたいと思えます。</p>
4	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う開館日数の大幅減の中で、「（ブックちゃんなど）団体貸出」「レファレンス件数」は前年度の数値を上回ったのは大きな成果だと思います。</p> <p>その中で、レファレンス件数増加の要因を「職員の研修、日頃の対応の成果、評価が数値に表れたもの」とありますが、具体性に欠けるので、どういう研修や対応を行ったのかをもう少し詳しく知りたいです。また、ホームページの「過去の質問事例集」が2012年度から2014年度までと古いものばかりです。2015年度以降のものは「レファレンス協同データベース」にあるということでしたが、「苫小牧市立中央図書館」の事例は4件しかありませんでした。</p> <p>リニューアルは考えられませんか。</p>	<p>令和元年度はレファレンス関連で次の職員研修を行いました。</p> <p>5/16 ブックフェア—2019 セミナー「子どもたちが郷土資料を創る」 1名派遣</p> <p>5/25 郷土研修「世界遺産れこれ」内部研修 24名参加</p> <p>10/30 市町村図書館職員レファレンス体験研修 2名派遣</p> <p>12/13 全道図書館専門研修（サービス・地域資料）1名派遣</p> <p>1/31 レファレンスインタビューの技法 内部研修 26名参加</p> <p>研修としては、上記を含め33の各種研修などを実施し、それぞれ派遣もしくは講師をお呼びして内部研修を行いました。派遣された職員は「復命書」を作成し、全職員に回覧、研修内容の職員間への周知を行いお互いのレベルアップにつなげております。</p> <p>HPでの「過去の質問事例集」について古いものばかりとのご指摘ですが、2015年から「レファレンス協同データベース」に参加し、その関連で同データベースへの照会を誘導しております。ただ、苫小牧で受けたレファレン</p>

		ス全てを登録しているわけではなく、文献調査に至った事例を登録しております。現在 25 件登録（公開）があるかと思えます。再度ご確認いただくと幸いです。
5	利用者アンケート結果について、回答率が 85.6%と非常に高く、前年度比 17.6%も増加していますが、何か特別の工夫をされたのでしょうか。	特別な工夫等行ったわけではありませんが、アンケート用紙をお渡しする際に職員からの声掛けを強化したことが回収率増に繋がったと考えております。
6	利用者アンケート自由回答で「トイレのウォシュレット」を要望する記述が 3 例もありました。施設の修繕は苫小牧市教委だと思えますが、修繕の予定は明らかになりませんか。	施設全体の修繕状況を見ながら、年度内の改修について検討いたします。
7	利用者アンケート自由回答の No. 6 6 にあるような事例が事実だとしたら、問題を感じます。	お客様から返したとお申し出があれば強引に「弁償」をお願いすることはありません。このケースはお客様との言葉の行き違いかと思われまます。該当者を探しましたが、そのような状況で受けた職員もおりませんでした。 回答としては「職員に注意喚起を行いました」との表現で記述いたしました。

<結果> 委員10名中、承認9名で、承認される

(2) 令和 2 年度事業計画について

令和 2 年度の単年度実施計画及び事業一覧について説明。

<意見等（整理・要約）>

	意見等	意見等に対する事務局の回答等
1	子育て世代への利用配慮について、具体的な計画案があり、テスト的に実施されることに大変期待します。ターゲット世代のみならず、広く一般への周知徹底をはかることが大事かと思えます。	ご意見ありがとうございます。 令和 2 年度は、年数回テスト的に実施いたします。「図書館は静かに本を読む場所」というお考えの方も多いかと思えます。 ご意見のとおり、実施にあたっては事前の周知が必要かと考えておりますので、関連の

		展示を館内で行う、図書館 HP ほかでの告知など行う予定です。
2	レファレンス受付フォームの設置は、成果を上げているレファレンスのさらなる強化に寄与する良い取組です。特に、COVID-19 流行下では優先度が高い取組であると思います。	ご意見ありがとうございます。当館といたしましてもレファレンスの幅が広がるものと考えております。
3	世代間交流の創設ということの意義は大きいですが、ボードゲームは新しい概念や知識を身に付けるツールにもなる（例えばビジネスの仕組や情報セキュリティを学ぶもの等々あり）ので、大変興味深い取組だと思えます。ただ、他の交流系の取組と同様に COVID-19 流行下での実施が特に難しいものであることが残念です。	ご意見ありがとうございます。 今回の新型コロナウイルス感染の状況を見極めながら感染拡大防止の対策を十分取った上で、年度後半に進めたいと考えております。
4	HP 上レファレンス受付フォームの設置や web アンケートサービスの活用について、インターネットを活用した取組の成果に期待しています。	いずれもサービス向上につながる取組です。「ビブリオバトル」は今後の新型コロナウイルスの状況を見ながら進めてまいります。
5	ビブリオバトルは楽しみにしています。	
6	読書感想文コンクールの「内容等」の記述について、「市内児童による…」とありますが、「市内児童生徒による…」というように「児童」（小学生）「生徒」（中学生）を分けた表現のほうが適切かと思えます。	ご指摘ありがとうございます。「児童」「生徒」の表現にいたします。
7	YA 図書館交流事業について、今年度は何らかのかたちで実践されることを期待しています。インターネットの活用も考えられるのではないのでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 インターネットの活用も検討いたします。
8	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、いろいろ大変な中、図書館が利用できなくなって改めてその必要性を感じ	今回の件で今年度も大きく事業計画に支障が出ており、今後、状況を見ながら事業計画の変更も検討することになりそうです。

<p>じています。今年度の事業計画も大変だと思いますが、よろしくお願ひします。</p>	<p>さらに来館しなくても利用できるサービスについて検討、実施することを考えております。</p>
---	--

<結果> 委員10名中、承認9名で、承認される。

(3) 中央図書館の点検と評価について

苫小牧市図書館運営計画で予定した取組について、指標達成度を中央図書館が自己評価を行った。

<意見等（整理・要約）>

	意見等	意見等に対する事務局の回答等
1	<p>選書選定委員会の設置について、書籍の購入だけでなく、除籍に関しても検討していただきたいです。古く借りる人がいないだけで、もう手に入らない書籍が苫小牧からなくならないよう、精度の高い選書が行われるようお願いしたいです。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 除籍に関しましては「苫小牧市立中央図書館除籍基準」にしたがって、各担当者⇒各責任者（一般、児童、参考郷土）⇒チーフ⇒館長⇒教育委員会、のルートで選定しております。 除籍についても「選書選定委員会」で検討とのご意見については、今後「選書選定委員会」に組み込めるか検討してまいります。</p>
2	<p>「書籍消毒機」の導入は実にタイムリーなものになりました。</p>	<p>ご評価いただきありがとうございます。</p>
3	<p>外国語版利用案内の配布に伴い、外国語併記の表示板（〇〇室や〇〇コーナーなど）にも力を入れていくと外国の方も利用しやすくなるのではないのでしょうか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 館内表示の外国語表記については、どのような表記が良いかや経費の部分など検討してまいります。</p>
4	<p>館内照明の LED 化について、電気使用量の大幅削減は大変良いことですが、3 月前年比 50%減というのは、開館日が非常に少なかったことを加味した上での数値ですか？</p>	<p>50%減の根拠といたしましては、次の数値から推測しております。 2019 年度 3 月電気使用量（図書館部分） 10,566kwh 2020 年度 3 月電気使用量（図書館部分） 3,250kwh（前年同月比 30.76%） 2020 年度 4 月 1 日～19 日（再開館後） 3,005kwh（前年同月日比 48.98%）</p>

5	<p>電子図書館の連携版への移行で「1枚の利用者カードで電子図書館も利用できることになり利便性が飛躍的に上がる」とのことだが、どういうことでしょうか。</p>	<p>現在は電子図書館を利用する場合は、電子図書館用のID・パスワードを発行しております。ご利用の際は利用カードの番号とは別のIDでログインしなければなりません。連携版へ移行することにより、電子図書館利用のご希望の有無にかかわらず新規申込の際にパスワードを発行いたします。IDについては利用カードの番号で利用が出来ることとなります。</p>
6	<p>非来館型サービスとしての電子図書館の充実について、非来館者、来館困難者、視覚障がい者、ご高齢の方たちへのサービスメニューも検討とあり、具体的な計画案を期待しています。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 それぞれの方のニーズをとらえた上で検討を進める予定です。</p>
7	<p>障がい者サービスの周知について、点字図書の出借は平成28年から30年まで0冊でしたが、令和元年度は12冊でした。どのようにして貸出に結びついたのでしょうか。一般の方にも知ってほしいと思います。</p>	<p>令和元年度に増加した件ですが、図書館として促進などを強化したわけではなく令和元年度に1名の利用があり、数値として上がったという事情でした。今後なんらかのアピールが出来るか検討したいと思います。</p>
8	<p>「2019年度単年度目標値」は新型コロナウイルスの影響で目標に達しなかったことは仕方ありません。12月までは順調なペースだったということで、2020年度に期待したいところです。ですが、新年度も早速休館が続き、順調な滑り出しとはいえない状況です。 2020年度の単年度目標値はどのように設定されることになるのでしょうか。</p>	<p>2020年度の単年度目標値については、このような状況ですので見直しが必要かとも考えますが、いろいろなご意見をお聞きしながら決めたいと考えております。</p>
9	<p>休館のためいろいろな数値が、前年度と比較できなく、目標値が達成できなかったとある中、13才から15才の新規利用登録と貸出人数が伸びているのは、何か特別な取組があったのでしょうか。今まで取り組んできた成果なののでしょうか。</p>	<p>新規登録者数 平成30年度 33名 令和元年度 36名 3名増 貸出人数 平成30年度 3,217名 令和元年度 3,221名 4名増 微増した状況で減少に歯止めが出たようです。通年でYA世代向けリストなどの発行、YAコーナーの展示入替など</p>

		に効果が表れたのではと考えております。
10	「図書館 宅配で本貸します」という新聞記事を見たことがあります。送料は利用者負担や職員が宅配する等、多様な方法があるようですが、今回のような臨時休館が長く続く状況の中では一考の価値ある取組だと思えますが、いかがでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 今回の状況の中で「本の宅配」も検討し、急遽「本の宅配」を実施した「あかし市民図書館（兵庫）」「松原市立図書館（大阪府）」などの図書館に問合せも行いました。しかしながらコスト（経費）の面で難しいかと考えておりますが、引き続き検討をしております。また現在、電子図書館の小中学生への利用を勧めるため、児童書、絵本、洋書絵本の拡充を検討しております。今後また感染拡大などで臨時休館になった場合、有効かと考えております。

<結果> 委員10名中、承認9名で、承認される